

令和5年度 学校評価表(自己評価)

安芸太田町立安芸太田中学校

安芸太田町教育21もみじプラン教育目標 「地球・世界的規模の視野を持ち、世界や地域社会に貢献する人づくりをめざす」											
ミッション				ビジョン							
自己を伸ばし、地域社会の活性化に向け、貢献・発信できる生徒の育成				主体的で協動的な学びが生まれる授業実践 生徒が輝く学級づくりと生徒会活動の充実							
学校教育目標				学校研究主題							
生徒が主役となって輝く教育の創造				深い学びを引き起こす授業づくり							
めざす生徒像				～安芸太田中授業スタイル(対話&授業プラン)を通して～							
中期経営目標	短期経営目標	評価項目及び評価方法		評価基準	担当	中間評価	最終評価	達成状況及び改善策(かつこ内の数値は前期)	評価委員の意見(最終)		
学力の向上	基本的な学習習慣の確立	学習意欲を高め、自ら主体的に学習に取り組む	・学習習慣と学習意欲(i-check)の肯定的回答率85%以上 ・年間読書数が10冊以上の生徒が70%以上	A:80%以上 B:60～80% C:60%以下	教務部	B		肯定的回答率は学習習慣(1年生:61.1%、2年生:69.5%、3年生:61.6%)、学習意欲(1年生:74.5%、2年生:78.3%、3年生:83.0%)となった。 [半年間に何冊の本読みましたか?]に対して、7冊以上:15.2%、4～6冊以上:13.0%、4冊未満:71.7%と生徒ごとに読書意欲に差がみられる。 授業では、引き続き「安芸太田中授業スタイル(対話&学びプラン)」を通して、生徒に見通しを持たせながら、自己の学びを調整させつつ、主体的に学習に取り組ませるとともに、家庭学習では、宿題と自主学習の取り組みを充実させ、家庭学習の質と量を一概充実させる。 生徒会文化委員会を核にした学校図書館運営を行い、環境整備や読書推進活動を行うとともに、町立図書館司書を活用(本の紹介、文化委員会への指導)し、生徒の読書意欲を高める。	読書は、自身の学び力や心の栄養となることを今後も継続して話し、生徒の心に響かせていただきたい。 個に応じた自主学習のスタイルをいくつか提示しながら、質を高め継続していく取組等を他市町の中学校とも連携しながら取り組みを進めてはどうだろうか。 読書について、電子書籍の採用も今後検討して見るのもよいのではないかと。 学習意欲は学年が進む毎に高まっているのに対して、学習習慣が高くなっていないのは気になる。 年間読書数10冊以上という評価指数だと、目標がぼやけるのではないかと。[毎月1冊以上のペース]を意識させる方がよいのではないかと。また、中間評価の段階で読書数が4冊未満の生徒が7割というのは、中間評価としては[C]に直ると言わざるを得ない。		
	深い学びを引き起こす授業づくり	深い学びを引き起こす授業づくり	・各種学力調査の結果がすべての教科で全国平均以上 ・標準学力調査の活用問題の平均正答率が、すべての教科で全国平均以上 ・生徒質問紙の協動的な学びに関する項目の肯定的な回答の平均値が85%以上	A:80%以上 B:60～80% C:60%以下				A		5月の全国学力調査と6・9月の実力テストでは、18教科のうち14教科が全国平均を上回った。 生徒質問紙の協動的な学びに関する項目の肯定的な回答率が96.4%と目標値を大きく上回っている。 深い学びは主体性と協働性に大きくかわかることから、「知識構成型ジグソー法」を用いた協調学習の実践研究をさらに進めるとともに、個別最適な学び(生徒が学び方を選択・決断できる幅を広げる)を推進する。また、授業で生徒同士が対話しながら課題を解決する場面を各教科で一層充実させる。	互いに対話しながら学びを深めていく協調学習の定着が図られている。もう一歩先の取組の一つとして、授業以外の場面(クラブ活動、学校外での活動や生活場面等)においても、友達と対話しながら課題を解決しようとする前向きな姿勢がさらにも芽生えてくることよい。 少人数であるという利点を生かして、個に応じた指導をさらに進めていってほしい。
自己肯定感の向上	基本的な生活習慣の確立	「3コテ」や「ストップ9」の取組を通じた継続的な指導	・生活習慣(i-check)の肯定的回答率85%以上 ・自己肯定感(i-check)の肯定的回答率85%以上	A:80%以上 B:60～80% C:60%以下	生徒指導部	A		生活習慣については、i-checkの結果から、「11時頃までに寝ている生徒」(67.0%)、「平日1日のICT活用時間 2時間までの生徒」(67.0%)、「毎日朝食を食べている生徒」(78.0%)であった。 自己肯定感(i-check)の成功体験と自信の項目)の肯定的回答率は、80.6%だった(1年生80.6%、2年生79.2%、3年生82.7%)。 1学期に引き続き、毎学期1回「3こて・ストップ9」Weekを設定して取り組むと共に、学級指導や個別指導、3者懇談などを通して、生徒保護者に働きかけることにより、改善を目指す。 教育相談やSHRなどを通じて肯定的な評価を行い、生徒の自己肯定感の向上に努めた。また、体育祭の振り返りの文章から、集団への所属感や達成感が高まったことが読み取れた。今後も行事などで、生徒が主役となって輝く場面を設定していく。	[3こて・ストップ9]の取組を、取組期間のものだけでなく、継続的なものにしていくことよい。 個別指導について、個人情報取り扱いに留意しながら、家庭と連携して取組を進めていってほしい。 生活習慣の中では、家庭で十分に食事がとれていない生徒の実態があるのどうかを丁寧に把握し、長期休業期間も含めた保護者との連携を十分に図ってほしい。 生活習慣については、保護者がしっかりと後ろ姿を示していくことで、自身のお子さんの心に響いていくのではないかと。 生徒の目立たぬ場面での頑張りもしっかり評価し、自己効力感を高めてほしい。		
	自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる	「キャリア・パスポート」の効果的な活用	・充実感と向上心(i-check)の肯定的回答率85%以上 ・生徒質問紙「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の肯定的回答率100%	A:80%以上 B:60～80% C:60%以下				A		充実感と向上心(i-check)の肯定的回答は87.7%(1年生87.6%、2年生93.0%、3年生82.5%)であった。質問項目のうち、最も高かったのは「勉強やスポーツ、趣味などで今がはまっている」(95.3%)で、最も低かったのは「ものごとを最後までできずにやり抜く」(91.2%)であった。 総合的な学習の時間についての生徒質問紙で肯定的回答は84.7%であった。 体験活動の充実を進める中で、結果だけでなくその過程も大切に、し、有用感や充実感、達成感が味わえるものにしていく。 今年度は「地域の特色と諸課題」(1学年)「地域産業への貢献」(2学年)「地域の活性化への貢献」(3学年)というテーマに沿って、各学年でグループごとに課題を設定し、地域の方にも協力していただきながら学習を進めている。後期に向けて校内発表等を実施する予定である。	将来の自分の夢の実現に向けての学びの一つである「総合的な学習の時間」がより充実し、学んだことが安芸太田町の発展に少しでもかかわっていきたくて専ら学校として語じてほしい。 総合的な学習の時間で調べたことを発表する際には、校内だけに留めず、保護者や地域の方にも広く公開していきたくてよい。 発表の場面だけでなく、プロセスをしっかりと評価していきたくてよい。そのことが、将来的にも有利にはたらくことが多いので、そういう教育の場を作ってもらいたい。
	地域貢献の意欲と態度の育成	地域貢献活動への参加	・社会参画(i-check)の肯定的回答率90%以上 ・地域貢献活動後の生徒の感想(肯定的記述)	A:80%以上 B:60～80% C:60%以下				A		「社会参画」の肯定的回答率は、1年81.5%、2年79.6%、3年76.9%だった。また、全学年が、全国平均の数値よりも上回っていた。 「お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加していますか。」の肯定的回答率は、1年83.3%、2年66.7%、3年76.9%だった。 ふれあい戸内まつりや科学実験サポートボランティアへの参加など、地域貢献活動に取組む、実施後の生徒の感想からは肯定的な記述が多かった。 今後も、二段階ボランティア清掃や高齢者大発表ボランティア清掃、つつがふるさとまつりの運営ボランティアとしての関わりやステージ出演、人権フェスティバルへの出演を通して、地域に貢献する場面を多く設定していく。このような活動を通して、地域貢献の意欲と態度を育成していきたい。	地域参画や地域貢献活動は、安芸太田中学校の良き伝統であり、継続していただきたい活動の一つなので、継続して取り組んでほしい。 コロナ禍の中でできなかった地域とつながる活動を再開することができてよかった。 これまでの伝統的に取り組んできている活動も大切ですが、新たな取組も取り入れることで、生徒のやる気につながると良いと思う。
信頼される学校	信頼される学校づくり	保護者・地域への教育公開及び情報発信の充実	・生徒及び保護者の学校満足度…90%以上 ・教職員の業務へのやりがい(充実感)…肯定的回答率90%以上	A:80%以上 B:60～80% C:60%以下	総務部	A		学校質問紙での生徒の学校満足度は94.6%、保護者の学校満足度は94.8%であった。「学校に行くのが楽しい(楽しみにしている)」の肯定的回答は、生徒で97.8%、保護者で92.7%であった。生徒の91.3%が「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。」に回答しており、保護者の95.1%が「学校は、生徒や保護者の悩みや相談に適切に対応している。」と回答している。教職員の73.3%が業務へのやりがい(充実感)を感じている。 学校満足度が生徒・保護者ともに高い結果となっている。これは、日々生徒や保護者の思いを丁寧に聞き、それに寄り添いながら支援や取組ができていたことと思われる。今後も引き続き、生徒や保護者の思いを丁寧に聞き、チーム学校として取組を進めていきたい。保護者アンケートで、「安芸太田中の教育活動でよいと思うものをあげてください。」という設問に、学校行事(78.0%)、ボランティア活動(61.0%)、部活動(53.7%)、対話を通じた学び(協調学習)(51.2%)、社会性の育成(48.8%)と続いていることから、これらの教育活動をさらに充実させていきたい。	保護者や地域からの学校に対する信頼度は高く、協力的な面は、安芸太田中学校の強みの一つであるからこそ、大切に継続していただきたい。 教職員がやりがいをもって自分の職務を遂行し学校運営に対して少しでもプラスαが出てくるよう、魅力ある学校となることを願っている。 生徒・保護者の学校満足度が高いのに対して、教職員のやりがい(充実感)が低いのが気になる。生徒・保護者・教職員の一体的な取組を充実させていくことが大切だと思う。		